

令和7年度最適化活動の目標の設定等

都道府県名： 宮崎県
 農業委員会名： 国富町農業委員会

I 農業委員会の状況(令和7年4月1日現在)

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和5 年 7 月 20 日

任期満了年月日 令和8 年 7 月 19 日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	17	17
認定農業者	—	10
認定農業者に準ずる者	—	2
女性	—	2
40代以下	—	1
中立委員	—	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	15	15	15

2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	1,083
農業経営体数	831

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	1,300
女性	574
40代以下	197

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	398
基本構想水準到達者	107
認定新規就農者	20
農業参入法人	20
集落営農経営	
特定農業団体	
集落営農組織	

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	1,560	883	—	—	—	2,440

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

Ⅱ 最適化活動の目標

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

① 現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)	これまでの集積面積(B)	集積率(B)／(A)
	2,440 ha	1,799 ha	73.7 %
課題	農業従事者の減少・高齢化による離農、所有者不明農地等が増加しており、早急に対策を講じて新たな担い手(新規就農者や農業生産法人等)への利用集積を図る必要がある。 また、農地中間管理事業を積極的に活用し、集積につなげる。		

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

② 目標

農地の集積の目標年度	7年度	年度	集積率	80.0 %
今年度の新規集積面積	155	ha	農地面積(C)	2,440 ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	1,952	ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)／(C)	80.0 %

1954

(2) 遊休農地の解消

① 現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	29.9 ha	13.2 ha	16.7 ha
課題	山あいや谷地などの自然条件の悪い農地など耕作条件の悪い農地については、耕作者がおらず遊休化が進み増加傾向にある。また、有害鳥獣被害なども深刻な問題である。		

② 目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	16.4 ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積	3.3 ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	11.5 ha
黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	関係機関(県や農地中間管理機構等)と連携し、工程表の策定に努める。

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	1.0 ha
---------------------------	--------

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	令和4年度新規参入者		令和5年度新規参入者		令和6年度新規参入者	
	12	経営体	7	経営体	1	経営体
	7.6	ha	5.5	ha	0	ha
課題	新規就農者の掘り起こしや受け入れ体制の整備、支援等のサポートが不可欠である。					

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体の経営面積の合計の農地面積を記入

②目標

権利移動面積	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均
	57 ha	103 ha	95 ha	85 ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積	8.5 ha			

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。))及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	9 日/月	最適化活動を行う農業委員の人数	17 人
		農地利用最適化推進委員の人数	15 人

(2)活動強化月間の設定目標

活動強化月間の設定回数	3 回
-------------	-----

取組時期	取組項目	強化月間の内容
8月	農地の集積	ヤミ小作解消に向けた取り組みを実施。農地中間管理事業等への活用・推進を図る。(農業関係組織へ啓発チラシ配布、委員による農家への声掛けなど)
11月	遊休農地の解消	再生が困難な農地について、現場確認を実施し非農地化を進める。
1月	遊休農地の解消	農地パトロール(6月～7月)後の遊休農地の個別現地解消確認及び情報収集。

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加目標

新規参入相談会への参加回数	1 回
---------------	-----

開催時期	令和7年11月頃予定	相談会名	みやざき就農相談会
参加者数	1人	開催場所	宮崎市
相談会の内容	宮崎県農業振興公社主催の「みやざき就農相談会」		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※ 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)